



神奈川県イグレンの活動状況を伝える機関紙

平成30年2月23日発行

神奈川県イグレンニュース

<第183号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川県中小企業センタービル7F

2018年2月号

イベントのお知らせ

→ 第73回 西湘サロン

日 時	3月6日（火）午後6時～8時（開場5時30分）
場 所	おだわら市民交流センターUMECO （JR小田原駅東口より徒歩約2分）
内 容	話題提供： 「小田原の森林の現状と課題、それにとまなう取り組み」 小田原市森林組合 佐藤 健 様 小田原林青会会長 大山 哲生 様（㈱大山材木店代表取締役） 小田原エリアの森林の現状など、そこに携わる人たちの目線でのお話です。また、木から繋がりはじめた各職方の技術を通して造ってきた、物・事など、小田原エリアの事例を紹介して頂きます。
参加費	1,000円（当日）
※ 最終ページに詳しい案内があります。詳細はそちらをご覧ください。	

皆さんの参加をお待ちしています。

今月のコンテンツ

1. ... テクニカルショウヨコハマ 2018 — 近年最大の参加者（芝忠） 2 ページ
2. ... 第42回 海老名サロンの報告（愛賢司） 4 ページ
3. ... 新技術フォーラム報告（松井利夫） 5 ページ
4. ... NPO 法人 C&S 経営支援協会より「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」セミナー開催の予告 6 ページ
5. ... 編集後記「テクニカルショウの会場をめぐる」 7 ページ

→ テクニカルショウヨコハマ 2018 — 近年最大の参加者

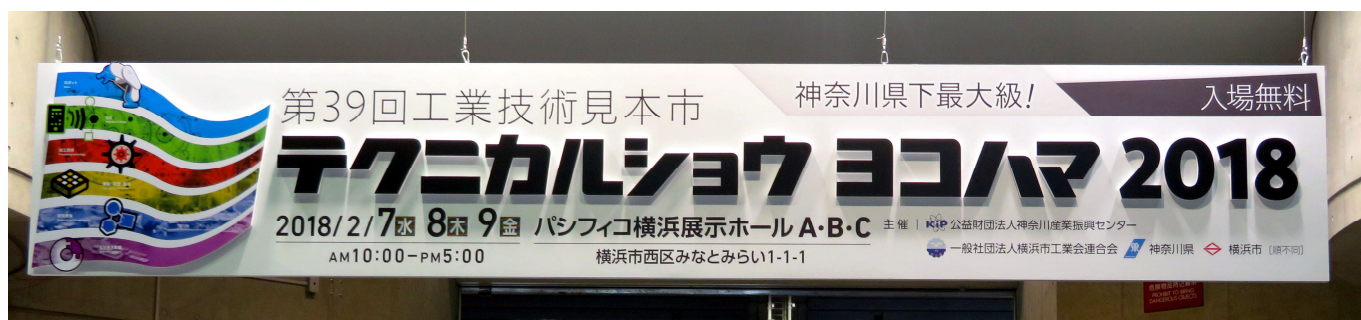
芝 忠

2018年(平成30年)2月7～9日に開催された第39回テクニカルショウヨコハマ(工業技術見本市)は、パシフィコ横浜展示ホールにて3日間で3万6千人の来場者、2004年(平成16年やはり3万6千人)以降で最大参加者となった。

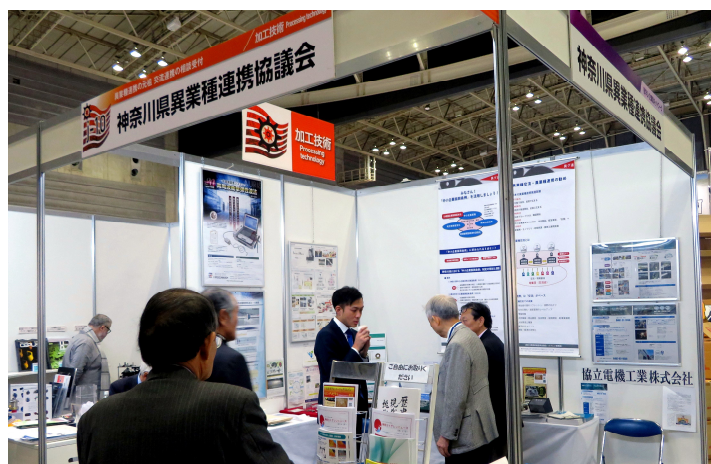
→ 出展者も 800 社・団体(昨年 635)と昨年比 128%と最高。

→ 展示小間数も 621(同 468)と昨年比 132.6%とこちらも過去最大。

展示場の増設工事が行われたこともあり、東京ビッグサイトを除くと交通の便も良く、他県からの出展者も満足する展示会となった。



イグレン(神奈川県異業種連携協議会)は児玉理事の協力もあり、3年ぶりに出展、期間中200人くらいの来場者があり、大変盛況であった。



用意した「異業種連携で数多の挑戦を」の企業・団体の合冊カタログ集100冊は全て捌け、名刺受けに入った名刺を含めて芝の名刺交換が51枚、初めてスタッフとして参加した橋本氏も50枚の名刺交換をし、イグレンの人脈の広さに感心していた。

イグレン小間は、まんてんプロジェクトと隣同志で「加工技術」コーナーに出展、横の大通り

真ん中に位置し、大変好立地であった。

主な展示内容は以下の通り。

展示	開明製作所	超精密加工サンプル 100 点
	協立電機工業	大型モータ修理技術
	TRIAS 社	ネットワーク展開図
	テクノコンサルタント	非破壊杭検査技術
	スターリングエンジンの紹介	
	三浦半島経済人サロン	
	ユニメーションシステム	豪雨警戒情報システム
	試作工房電	
ポスター・カタログ	川田製作所	精密プレス加工や金型
	尾下紙業	ダンボール
	紅茶試飲サービス	紅茶専門店
	コージュクリムゾン	

出展者セミナーは第1日にまんてんプロジェクトとともにイグレンが登場。会場がまんてんブースの真裏と好条件、児玉理事がイグレン活動の魅力を語り、テクノコンサルタントの伊藤会長が大分から態々出てきて説明、最後に協立電機工業の藤本取締役が「モータ修理の一大革命を目指す」を紹介。聴講者も座席いっぱいの30名、質問も出た。テクニカルショー主催者の産業振興センター職員からもいっぱい良かったねと感想。開明製作所社員が総動員で展示会の見学など人材教育の一環として頑張った。



が残念、来年は工夫して一緒に展示すべきだろう。

相変わらず他県からの出展が多く、「横浜はビジネスになる」(長野県精密加工企業)。神奈川工業高校電気科の学生1年・2年生が多数歩いていたが、就職の参考という。詳細にメモしていた学生もいた。恒例の石川県ニュービジネス創造化協会も6コマ出展していたが、昨年同様、3カ所に別れていたの

金沢臨界産業団地の特設会場では、「臨海 LINKAI 横浜金沢」新名称記念のシンポジウムが行われ、横浜市大や関東学院大との連携、あおぞらファクトリー構想などが発表され、今後の連携対象として注目した。

第1日の夜、主催者による初めての懇親会が行われ満杯だった。イグレン関係は7人参加。元東京都立大学の西村教授も飛び入り参加。この企画は継続すべきだ。

総じて、天気にも恵まれ大変賑やかだったと言える。(芝忠)

→ 第42回 海老名サロンの報告 (H.29年11月24日)

昨年11月24日開催された「第42回海老名サロン」の報告です。会場は、神奈川中小企業センター6階大研修室、参加者は20名。報告・講演は以下のとおりです。

1. 経済民主主義の面から中小企業振興条例を検討する	愛賢司 (イグレン理事・海老名サロン事務局)
2. ロバート・ライシュにみる米国の格差問題	今井 章子 (昭和女子大学ビジネスデザイン学科教授)
3. 日本企業の CSR(企業の社会的責任) を考える	

今井先生は、ご自身が翻訳されたライシュの著作（「みんなのための資本論」「最後の資本主義」）をとおして下記の内容で講演された。

- ①. ロバート・ライシュは、クリントン政権で労働長官を務めたりベラルな政治経済学者であること。
- ②. 米国における格差問題—400人のリッチな人々が占有する富の方が、下層にいる米国人1億5000万人の富の合計よりも多い。
- ③. GDPは伸びているのになぜ格差が拡大したか。
- ④. 経済を動かす中間層の没落・激減
- ⑤. 70年代に入ると労働者の賃金は伸びなくなった。経済のグローバル化と技術革新による米国製造業の問題。
- ⑥. 50年代から60年代は民間部門の労働者の3分の1が組合に加入、全ての労働者が恩恵を受けだけの十分な団体交渉力があつた。
- ⑦. 経済問題は政治問題—ゆがめられる市場ルールの実態等について。

日本の格差問題を考えるうえでも貴重な講演内容でした。(愛)

次回の海老名サロン

日 程	2月27日(火) 15:00～
場 所	神奈川中小企業センター6階大研修室 (JR 関内駅徒歩約3分)
内 容	「町工場が出来る地域貢献」(有)川田製作所 川田俊介 氏
参加費	3,500円(交流会費込み)
連絡先	愛 賢司 Mail: aikenji1024@gmail.com

→ 第57回「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)のレポート

1月24日開催 イグレン事務局 松井利夫

初めに、(株)シーエー社の松井隆氏から蓄光式避難誘導標識について説明がありました。内容は、東京オリンピックが近づいたためか、災害時の避難場所について関心が高まってきたように思う。避難場所が屋外のタワーの場合、1,2月の寒い時期には長時間の利用は難しいので、体育館のような屋内の施設が望ましい。また、他社のLEDによる標識と当社の蓄光製品とでは、短時間しかもたないLEDよりも15年もつ当社の蓄光製品の方が長い目で見て良いということが理解されるようになってきたとのことでした。

(株)テクノコンサルタントの石川常夫氏からは、昨年の4月から「非破壊調査システム」の仕事を始めたが奥が深い仕事だと感じている。最近、杭とは何かが分かるようになってきた。この仕事は人の仕事のあら探しと捉えられてしまって、何しに來たと言われることがある。信用してもらうまでは時間が掛かると思う説明が等の説明がありました。

荒川信也氏からは、「危険通報通信システム」の認証試験をしてもらわなければならないが、混んでいるため2月上旬か3月中旬になってしまうかもしれない。現在の製品は、火災、防犯通報、緊急呼出など5つの機能があるが、地震対応の機能も考えたいと思っているとのことでした。

(株)ユニメーションシステムの伊藤幸彦氏からは、4月より、国交省はXRRAINが配信されるが、従来のXバンドMRレーダとCバンドの合成データで、より精度が向上されているとのこと。XRRAINデータは250mメッシュで積乱雲の状態から10分後の雨量を判定出来、雨が降る前に豪雨の状態を検出して警報を出力できる能力がある。現在、5kmメッシュしか測れない降雨量が250mメッシュまでレーダで測定し、1分間隔で情報が送られてくることになり、利用範囲はゲリラ豪雨、崖崩れ、土砂災害等、広範囲に利用が可能であるとの説明があった。

→ NPO 法人 C & S 経営支援協会より

理事長 松井利夫

平成29年度補正予算による

「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」 セミナー開催の予告！

毎年、大変好評の「ものづくり補助金」が近いうちに公募されます。

3月上旬に公募が開始されるものと思いますが、公募が始まるとすぐに公募が締め切られるものと思います。中小企業・小規模事業者の方で、是非応募したいとのご計画がある方はこの機会を逃さず、今から申請書作成の準備をされることをお勧めします。

「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」については、公募要領が明らかでない現在、既に、その概要を把握していますので「補助金セミナー」を開催するための準備をしています。開催日時、場所等詳細については、公募要領が発表され次第お知らせします。

「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」セミナー(予告)

(1) 開催日時	平成30年3月上旬の予定 午後又は夜間
(2) 会場	神奈川中小企業センタービル 研修室の予定
(3) 受講料	1000円(資料代)
(4) 定員	15名(先着順)
(5) 講師	NPO C&S 経営支援協会 中小企業診断士 松井 利夫
【問合せ先】	Mail : toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp

→ 編集後記 テクニカルショウの会場をめぐって

愛 賢司

今年も、他県からの出展が目立ちましたが、特に、燕商工会議所は33ブースで、幟を立て、ひと際目につきました。事務局の方によると、「5年前は3社でしたが、青年部会で、もっと多く出展しようということになった。」「ものづくりの複合的な対応ができるので、ビジネス的にも意味がある」という話でした。

鹿児島県の川内商工会議所は、3社の出展。理由はマーケット開拓と出展費用が安いとのこと。福岡市で出店した時は1ブース30万円とか。因みに、市からの補助は出るが県からは無いとのこと。余計なことですが。

プラスチック関連の仕事をしている社長さんの話では、「円安の関係で中国から成形加工関係の仕事が日本に戻ってきて結構忙しい」とのことでしたが、別の金型屋さんに話を聞くと「量産物を扱っている成形屋さんは閑だと言っている。医療関係などの精密部品を扱っている企業さんではないか」という話。同じ業界でも丁寧に実状を観ないといけないと改めて再認識した次第です。(愛)

神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤荒 直孝
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛賢司
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛賢司 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭日】	休業

神奈川県イグレン事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7階インキュベートルーム 703号

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」 第73回西湘サロン開催のお知らせ

【日時】：平成30年3月6日（火）午後6時～8時（開場5時30分）

【場所】：おだわら市民交流センターUMECO (TEL:0465-24-6611)

【会費】：参加費1,000円（当日）

* 次回 74回予定：平成30年5月8日（火）（開催時間、場所は今回と同じ予定です）



1. 話題提供：「小田原の森林の現状と課題、 それにとまなう取り組み」

小田原市森林組合 佐藤 健 様
小田原林青会会長 大山 哲生 様（㈱大山材木店代表取締役）

小田原エリアの森林の現状など、そこに携わる人たちの目線でのお話です。また、木から繋がりはじめた各職方の技術を通して造ってきた、物・事など、小田原エリアの事例を紹介して頂きます。

2. テーブルディスカッション（ビール、つまみを用意します）

テーブルを囲み、自由に討論・交流を行います。

団体での参加申し込み先：神奈川県異業種連携協議会事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階

Tel&Fax 045-228-7331 (担当：吉池)

3. 場所



JR 小田原駅東口より徒歩
約2分です。

住所：小田原市栄町一丁目 1
番 27 号（駅東口駐車場1階）
(TEL:0465-24-6611)

個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。多人数で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込書（西湘サロン）Tel&Fax 045-228-7331

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	()
		FAX番号	()